

【記入例10】

扶 養 申 立 書

令和〇年〇月〇日

公立学校共済組合福岡支部長 殿

組合員氏名 福岡太郎

被扶養者 福岡 弟 郎 について下記のとおり申し立てます。

扶養しなければならない理由（具体的に）

弟郎は平成〇年〇月に△△大学を卒業し、〇〇商事株式会社に就職しましたが、令和〇年〇月〇日付で一身上の都合で退社しました。その後3か月間は雇用保険（日額3,800円）を受給し、同年〇月〇日で雇用保険も終了しました。雇用保険受給中は国民健康保険に加入していましたが、〇月〇日以後は収入もなく現在に至っています。本来は両親が扶養すべきですが、父は昭和〇年に死亡し、母は父の遺族年金80万円を受けており私の被扶養者になっています。又、長兄は東京在住であり、送金等も一切行っておらず、弟を扶養できないため、同居の私が扶養することになりましたので、別紙扶養協議書を添えて申立てます。

※ 配偶者は被扶養者で  ある ・  ない （該当するものに〇を附すること）

これまでに加入していた健康保険名（不明の場合記入不要）

保険者名 〇〇市国民健康保険 記号〇〇番号 〇〇〇〇〇

資格喪失年月日 令和〇年〇月〇日

被扶養者の所得に関する事項（該当するものに〇を附すること）

年 金  なし ・  あり（年額                      円）別添写しのとおりです

雇用保険  なし ・  あり（給付日額                      円）別添受給資格者証の写しのとおりです

傷病手当金  なし ・  あり（給付月額                      円）別添写しのとおりです

その他の収入  なし ・  あり（                      円）別添就職等申立書のとおりです